

来年の議案にそのまま使える背景・目的

背景 挑戦を次の一手へ進化させる！

地域には課題意識や構想を持つ人財がいるものの、挑戦が十分に知られず、事業化や協働につながっていない状況があります。その原因は、挑戦を地域へ伝え、連携へつなげる機会が不足しているためです。そのため、挑戦を可視化し地域とのつながりから新たな行動や連携が生まれる場である状態にする必要があります。

目的 想いを動かし地域を動かす挑戦アクション

挑戦者の価値を社会に伝え共有することで、事業化、協働、社会実装へとつながる行動や連携をつくることを目的とします。

運動手法

①地域版価値デザインコンテストの実施(事業)

地域で課題解決や新たな価値創出に取り組む事業者、団体、学生、個人を対象にビジネスアイデアの募集をし、その構想を審査する場を設けます。企業、行政、学校、団体とマッチングを行います。

②地域版価値デザインコンテストを広める(例会)

ビジネスアイデアを表彰し称える例会等を実施し、それをLOMの広報媒体で発信することで、企業や行政、団体とのマッチングを見据え、地域版価値デザインコンテストの周知や認知度向上を図ります。

※価値デザインコンテストとは

地域課題の解決や新たな価値創造に挑むアイデアを表彰するコンテストです。

どんなLOMに向いてる？

未来を担う人財の挑戦を、地域に浸透させたいLOM

未来を担う人財の挑戦をサポートしているものの、発信や事業実施だけで終わってしまい、その後の地域企業との協力や実際の活動につながっていないLOMに適しています。また、挑戦している人財を地域へ発信し、企業、行政、学校と一緒に地域活性化につなげたいLOMにも有効です。

この運動をするとあなたのLOMはどう変わる？

新たなアイデアが地域の活性化を促進するLOMになる

未来を担う人財の挑戦やアイデアが地域に共有されることで、新たなつながりや活動が生まれ、地域活性化につながっていきます。

Point 運動構築におけるアドバイス

- ・地域の企業、自治体、教育機関との共催をおこなう。こんな提携先と動いてみよう。
- ・地元企業、金融機関、スタートアップ支援機関、大学、専門学校と連携して動いてみよう。
- ・動員プラットフォームをJC内部告知中心からSNS、外部媒体活用へ移行する。
- ・受賞者や挑戦者のストーリーを積極的に発信する。
- ・家族と地域の課題が何か一緒に話してみよう。

